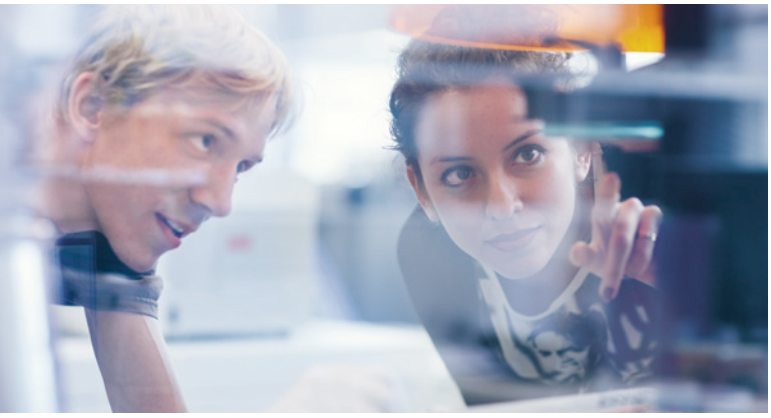
sonova
HEAR THE WORLD

ソノヴァ グループ

行動規範



CEO からのメッセージ

社員の皆さんへ

皆さんの多くも私と同じ気持ちだと思います。誰もが聞こえる喜びを満喫し、制限なく生活できる世界を創るという共通のビジョンに向かって注力し、まい進することを楽しんでいます。このビジョンへの取り組みが Sonova 社員を1つにしています。この取り組みは、私たちの士気を高めることを狙いとしていますが、同時に私たちが設定した高い基準に沿ってビジネス活動を行う責任を私たちに課してもいるのです。

当社の行動規範には当社のビジネスおよび個々の社員の義務が定められ、当社の社風を形作ります。行動規範は私たちの行動指針を提供するために作成されており、最高水準の倫理的行動を維持する基礎となります。あらゆるビジネスユニットやあらゆるマーケットにおいて、私たち社員全員が、こうした価値観を浸透させ、行動規範に定められた原則を全員で尊重し、遵守する責任があるのです。

この行動規範が、私たちを長年にわたり導いてきました。社員の皆さんには折に触れて行動規範を読み直し、日々遂行している仕事やビジネスのやり方にその原則を一貫して適応させ、実践してください。

この行動規範は、私たちがそれを思いに留めて忘れず、遵守する限りにおいて、当社の企業倫理の基礎として機能しうるのです。Sonova で、この行動規範の原則が生かされていない、または守られていないと真摯に思える事態に遭遇した場合は、知らせてください。部署のマネージャー、コンプライアンス部門または法務部門やコンプライアンスホットラインに連絡するか、あるいは私に連絡してください。当社では、社員全員が透明性をもって行動し、全員の声が届くようにしたいと思っています。遠慮は無用です！

倫理感と誠実さをもって業務を進めていくことは、当社にとって重要で大切な機会となります。それは、業界内で私たちの会社を差別化し、さらには当社を誰もが働きたいと思える会社にし、私たちの評判と合わせて収益拡大をもたらす機会です。社員全員が法令遵守に対するロールモデルとならなければなりません。皆さんの協力により、私たちの価値観や評判がこれからも長く維持され続いていくのだと確信しています。一緒に Sonova を最高の会社へと築き上げていきましょう。

皆さんの取り組みに感謝いたします。

Arnd Kaldowski
Sonova CEO

目的

この行動規範は、各従業員の適切な行動を通じ、持続可能な長期にわたるソノヴァグループの成功を確たるものとすることを狙いとしています。

ガイドとなる原理原則は、私たちが自らの行動に責任を持ち、忠実かつやる気を持ち、正直な個人としてふるまい行動するということです。

有効性

本行動規範は、ソノヴァグループ内の全従業員、子会社やその他、ソノヴァグループやその子会社にて役務提供を行う委託業者や供給業者に対して拘束力を持ち、適用されます。本行動規範によって定められるいくつかの項目は、特定のガイドラインで詳しく説明されています。従業員が行動規範を守ることを怠った場合、当該国の関連法令に基づき、解雇を含む懲戒処分が与えられる場合があります。

企業の社会的責任

私たちは自分の責任をしっかりと受け止めます
ソノヴァグループは、いずれの聴力損失も解決される世界、また人々が等しく「聞こえ」を楽しむことができる世界を作り、育てます。私たちは、イノベーティブなテクノロジーと、サービスを追求するという意思、自分たちのすべての行動に責任を持つことによりこのゴールを追求します。私たちは、持続可能かつ社会的・環境的に責任のある方法でビジネスを行うことに専心するものです。私たちの活動を行う際には、エネルギーやマテリアルの効率的な使用を考慮に入れ、安全かつ責任のある残留廃棄物処理を行います。

作業における行動

私たちは、適用される法と拘束力を持つ水準を厳密に守ります
従業員は、ソノヴァ が業務を行う各関連市場における法を熟知し、守ることを期待されています。ソノヴァ が操業している国のすべての法と規制、また本行動規範ならびにすべての関連するポリシーおよびガイドラインを遵守することは、各従業員に対する雇用条件です。

反トラストと競争法を守り、これに従います
競争法と反トラスト法は、市場競争が自由で開かれたものとなるように存在しています。これは、ソノヴァ が完全に支持する原理原則です。

禁止されている行動には、以下がありますが、これに制限されるものではありません。
- 談合して価格をあらかじめ決めておく、販売を制限する、領域を割り当てる。
- 競合社との守秘情報の交換。
- 競合社や再販社との再販価格の談合や、その他領域や/または顧客に関する再販制限。
- 市場における独占的な地位の利用（悪用）。

私たちは、自社の知的所有権を保護します
わが社の知的所有権は、私たちが、競合社と差別化された独自のソリューションをお届けし、業界でリーダー的な企業となる手助けを行うものです。知的所有権は、クリエーティブなアイデアから生まれるものであり、わが社の製品とテクノロジー、サービスのイノベーションと進化に結び付く、企業の財産です。もっとも端的なものとしては、わが社の発明、特許、商標やコピーライトがこれに当たります。

ソノヴァグループのために私たちが開発する知的所有権は、同社に帰属するものです。これを見つけ、保護するために適切な手順を踏み、ソノヴァグループの利益となるようにのみ使われるようにしなければなりません。

私たちは、企業の財産を保護し、尊重します
ソノヴァグループの従業員は、コンピュータや携帯電話など、ある種の企業財産を使用することを許可されています。別途規定されている場合を除き、企業財産は正当な企業のビジネスでのみ使用することができるもので、個人のメリットや利潤のために使用することはできません。

私たちは、関連情報を守秘します
ソノヴァグループは各種の幅広い、社外秘の守秘情報を有し、これは競合社にとって価値を持つものです。例としては、技術的なノウハウ、調査 研究と開発データ、製造方法、コストの金額、事業計画や戦略、従業員情報、顧客リスト、財務情報やソフトウェアのソースコードなどが挙げられます。これらはわが社の大切な財産です。

この種の情報を保護するため、適切な手順を踏まなければならず、承認を受けている商取引以外で、社外の人にこれを開示してはなりません。守秘情報の承認なき開示に対し、わが社はこの追求に尽力するものです。わが社の情報守秘を保護する義務は、ソノヴァ グループ 退社後も継続します。

これは、貴方が業務の一環として持っているアクセス権を通じて持ち得ない情報に限り、個人的な開示や議論、他人との機密情報を禁止するものではありません。

私たちは、他者の所有権を尊重します
わが社では、他者の知的所有権を尊重し、不適切な手段や、かかる情報の承認なき開示ににによって他者の守秘情報を取得しません。

私たちは、データを安全に、プライバシーを遵守して保管します
わが社では、技術的・組織的な手段を用いて、従業員や顧客のデータを含む、データの守秘と統合性を守ります。 わが社では、適用されるデータ保護規制を遵守します。

私たちは、インサイダー取引を禁じます
インサイダー取引法は、公表されれば株価に影響を与える、具体的かつ非公開の情報に基づいて証券を売買することを禁じるものです。この法はまた、かかる情報を他の誰かに知らせることも禁じています。従業員が、勤務中に得た守秘情報を利用して他社の証券を取引することにも、同じ制限が適用されます。 わが社では、インサイダー取引を禁じ、これによりわが社の社会的評価を保護することに共通の関心を持ちます。

私たちは、電子メールとインターネットを適切に使います
電子メールやインターネットといったビジネスツールの使用には、会社と従業員個人が守らなければならない法的な含みがあります。私たちが作成する電子メールとインターネットを通じてアクセスするデータの内容は、常に適切なものでなければなりません。電子メールとインターネット、ソーシャルメディアは、ポルノや猥褻なものなど、違法、不快、論争を招き、また差別と見なされうるコンテンツ・内容にアクセスしたり、これを伝播したりするために使用してはなりません。別途規定されている場合を除き、電子メールとインターネットおよびソーシャルメディアは、正当なビジネス目的でのみ使用するものとします。

顧客に対する行動

私たちは、顧客を第一に考えます
顧客は、わが社の事業の中心となります。お客様が、ご友人たちにソノヴァグループでのポジティブな体験を伝えてくださるのが願いです。私たちは、お客様に対する約束を守り、お客様に私たちが真剣に向かい合っていることを知っていただけるよう行動します。私たちは、お客様おひとりおひとりの問題が解決するまで、助力を止めません。

私たちは、公正にビジネスを行い、賄賂を受け取りません
私たちは、自社製品、サービスと従業員をもって、公正にビジネスを行います。顧客や供給業者に対し、ソノヴァグループに有利になるような決定を下していただくためにリベートを申し出たり高価な贈り物をすることは不適切でありまた違法である場合があります。国によっては違法でない場合もありますが、そのような支払いは不適切であるように人目に映り、わが社の社会的評価を損なう場合があります。

政府職員などの許認可権限を有する者や取引先企業の役員、顧客その他に対し、不適切な支払い (賄賂、リベートまたはその他違法な目的での支払い) は、一切行うべきではありません。この禁止は、直接の支払いに留まらず、コンサルタントや第三者を通じて行われる間接的な支払いにも適用されます。

私たちは、国際取引規制と輸出規制を遵守します
目的地と製品の性質により、わが社の製品は輸出管理規制と取引制裁の対象となります。これらの制限は、取引を禁止するか、輸出を禁止するか、ライセンスを要求するか、当局への通知を必要とするものです。国際取引規制の非遵守により、個人および企業は、重大な罰金、輸出、輸出特権の否認、個人においては禁固を受けるリスクにさらされます。

私たちの競合社に対する行動

私たちは、公正な競争に専心します
わが社の競合社は、ビジネスへの正当な関心を持つものです。私たちもそうです。最高の企業がこの競争に勝利するでしょう。顧客はこのライバル関係から利益を受けるべきであり、競争は公正なものでならなければならない理由はここにあります。

一般の人々に対する行動

私たちは、一般の人々と地元のコミュニティに対し、タイムリーかつ正確な方法でコミュニケートします
上場会社として、私たちには、タイムリーかつ正確に財務その他の重要な会社情報を明らかにする義務があります。同時に、私たちはかかる開示に関する厳密なルールに従わなければなりません。完全かつ公正、正確、タイムリーに分かりやすい形で報告書またはその他書面にて一般の人々に情報を開示することはわが社のポリシーです。 わが社の代表として公の発表を行うのはCEOおよびCFO、ならびにCEOかCFOから特別に指名された人物のみです。

供給業者やビジネスパートナーに対する行動

私たちは、ビジネスパートナーの利益を尊重します
一般的に、わが社のビジネスパートナーは、ソノヴァグループと商業上の、長期にわたる利益を追求する関係を持ちます。わが社はこの関係を尊重し、両者が得をするウィン-ウィンの状況を生み出すよう働きかけます。

私たちは、ビジネスパートナーと供給業者が、法律と国際的に確立されたビジネスルールを遵守するだけでなく、少なくともソノヴァグループの供給業者として当社の原理原則に従い、社会的・環境的責任をも真剣に受け止めることを期待します。

私たちは、ビジネスパートナーと贈答品を交換する際に注意します
時として、ビジネスパートナーや供給業者の対処において、私たちは贈答品や娯楽関連のアイテム（供応など）を提供されることがあります。
その際には、別途のガイドラインで詳細を定めているとおり、最低限の安価な価格の品物しかやりとりしないことがソノヴァグループのポリシーです。贈答品を受け取ることにより、供給やビジネス関係・取引を受け入れたものとみなされることがあってはなりません。

従業員や同僚に対する行動

わが社では、従業員こそがわが社成功のカギであると考えます
わが社従業員はソノヴァの命をつなぐ血液とも言える存在です。私たちは、関連情報を共有し、グループ中の仲間と共に協力してチームとして協働します。私たちは常にお互いを尊重し、公正に扱い、また世界中から来ている多様な個人の異なる価値観を大切にします。

私たちは、便宜供与を避けます
貴方はソノヴァグループ、顧客、株主の利益の為、貴方の仕事をこなすことを期待されています。貴方の個人的利益が何らかの方法でソノヴァグループの利益に干渉したり干渉していることが明らかになった時に利益相反が生じます。貴方が客観的かつ効果的に会社の業務を遂行ことで困難せしめるように行動したり関心を持ったりすると利益相反が生じることがあり得ます。

便宜供与や利益侵害の例としては、直接・間接的にソノヴァグループの競合社で働くこと、適切な手段を経ずして親戚を雇うこと、競合社の役員となること、または – 従業員かその直近の家族により – ソノヴァグループと直接・間接に競合する他社を部分的に所有、または関与することが挙げられます。

私たちは、わが社における多様性を大切にします
言語、民族的起源、宗教、健康の状態と文化の多様性は、我が社で反映され、私たちの世界的な顧客ベースを表わすものです。私たちはこの多様性をわが社を成功に導く重要なカギとして大切にします。

私たちは、従業員の個人のインテグリティ（高潔・清廉）を尊とびます
わが社では、関連ルールを守り、違反があった場合にはこれを一貫して処罰することにより、いじめとセクシャル・ハラスメントを防ぎます。ハラスメントのない職場環境を提供することは、わが社のポリシーです。「ハラスメント」とは、通常セクシャル・ハラスメントを指すことが多いですが、その人の民族的起源、宗教、出身国、性別、性的志向、性自認、年齢、身体しょう害に基づく職場でのハラスメント、またはその他不適切あるいは違法な行動も含まれます。ソノヴァは、物理的なものであれ、口頭でなされるものであれ、口に出されないものであれ、いかなる形でもハラスメントと差別を禁じています。

同僚への接し方には気を遣い、常に個人のプライバシーを尊重しましょう。

ハラスメントを受けた場合には、マネジャーか、または適切である場合には各グループカンパニーの人事部長に報告することを推奨します。あなたの報告は最大限保守され、報告が誠実に行われていれば、その中に記されている苦情や証言により報復を受けることはありません。

助けを受けるには

本行動規範は枠組みを提供することが目的であり、すべての状況をカバーすることはできません。疑問点が法律にかかわる場合、わが社の方針は明白かつ常にひとつです – わが社は法律に従います。従業員は、違反ではないかと思われることに気づいたら、直ちに報告を行うことを推奨されています。最良の行動は、困難な問題に取り組み、解決する方法を会得することです。

心に留めておくべき手順と自分に問うべき事柄があります。どんな状況であれ、どうしたらいいのか分からない場合、行動を起こす前にガイドラインに当たってください。

1 **関連する事実を集める。** 関連するすべての事実から答えを探し出すことは非常に難しいことです。ですが、それらなしに正しい結論に達することは不可能です。

2 **実際に、私はなにをすることを求められているでしょうか?** これにより、あなたは自分が直面している特殊な事柄に集中し、どんな代替案があるかを考えることができます。

3 **自分の責任を明白にする。** 私たちが直面する状況の多くでは、その責任を負う人が複数います。他の当事者たちも状況を知らされていますか?他者にも相談し、問題を提起すれば、優れたアクションの方針が自ずから見えてくるものです。

4 **公正でしょうか?** アクションの方向性が不公平であるように思われる場合、どうして不公平に思われるのか、また誰に害が及ぶだろうか考えてみてください。お客様でしょうか?会社の利害でしょうか?他の従業員でしょうか?

5 **問題について自分のラインマネジャー（上司）と話し合ってください。** これは、ほぼすべての状況に該当する基本的なガイダンスです。あなたのラインマネジャーはより広い物の見方ができるようになり、また手遅れになる前に、意思決定のプロセスを得たことを感謝するでしょう。

6 **さらなる支援を受けることもできます。** ある事柄についてあなたの上司と話し合うことが不適切であるという稀なケーにスおいては、最初に人事部長に連絡を取ってください。それでも事柄が解決しない場合、あなたのグループカンパニーの専務取締役・社長に連絡を取ってください。.

7 **わが社のコンプライアンス担当に連絡を取ってください。** その他のすべてのコンタクト先が適切でない場合、法務部門に連絡を取ることができます。最後の手段として、ソノヴァ コンプライアンス・ホットラインに連絡を取ることができます。こちらは毎日、終日開いています。あなたの国のソノヴァ コンプライアンス・ホットラインの番号は、ソノヴァ 行動規範イントラネットのページに記載されています。:
http://collaboration.sonova.com/orgunits/ch-ph-reg-pol/Pages/code-of-conduct.aspx

コンプライアンス・ホットライン

本行動規範に反する可能性があれば、ソノヴァグループの社員は、コンプライアンス・ホットラインを通じて、その件に関する懸念を世界各地から電話で報告することができます。ソノヴァグループとは利害関係のない専門家が応対し、報告書をソノヴァグループのしかるべき者へ回し、それに基づき調査を行います。

後日、社員は、追跡調査に関して情報を求めることができます。

電話番号

中国:	10-800-711-0748
カナダ:	(866) 447-5045
ドイツ:	0800-180-3417
スイス:	0800-56-3263
アメリカ合衆国:	(866) 447-5045
ベトナム:	(704) 521-1168
上記以外の国:	+1 866 447 5045

規範の翻訳

ソノヴァ 行動規範は、以下の言語に翻訳されています。

عربي (Arabic)

漢語 (Chinese)

Nederlands (Dutch)

English (English)

Français (French)

Deutsch (German)

हिन्दी (Hindi)

Italiano (Italian)

日本語 (Japanese)

Polski (Polish)

Português (Portuguese)

Русский (Russian)

Español (Spanish)

Tiếng Việt (Vietnamese)

www.sonova.com/codeofconduct

英語版が正本です。

承認

本行動規範は、ソノヴァ 取締役会により 2012年8月23日に承認を受け、2013年11月においては、翻訳において不注意な誤解を解消するため、若干改訂した。2008年版 ソノヴァ行動規範に取って代わるものです。

Sonova Holding AG
Laubisrütistrasse 28
8712 Stäfa
Switzerland

Phone +41 58 928 33 33
Fax +41 58 928 33 45

www.sonova.com
compliance@sonova.com

037-0200-17/Japanese//V2.00/2018-10/Printed in Switzerland © Sonova Holding AG All rights reserved